

令和6年度第4回大口町子ども・子育て会議 議事録

日時：令和6年11月14日（木）13時30分～15時20分

場所：大口町健康文化センター1階 機能回復訓練室

次第	1. あいさつ 2. 協議事項（分科会） 第1分科会：第4章 推進施策・事業（基本目標1と基本目標4） 第2分科会：第4章 推進施策・事業（基本目標2と基本目標5） 3. 報告・協議事項（全体会） （1）各分科会からの審議結果の概要報告 （2）全体を通しての意見交換 4. その他 ・第5回大口町子ども・子育て会議の開催について ・ご意見表の記入・ご提出の願い（提出期限11月25日（月）） ・その他
欠席委員	（欠席4名）
資料	・ 次第 ・〔資料4〕（11月7日版）第4章 推進施策・事業

議事録	
開会	
事務局	・令和6年度第4回大口町子ども・子育て会議を開催いたします。
1. あいさつ	
会長	・お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。先週は貴重な意見も出させていただきました。今回は分科会で具体的に議論できるため、よりよい議論ができると期待しています。小さいグループで話しやすくなるため、忌憚ないご意見をいただきながら、会議を進められたらと思います。よろしくお願いいたします。
2. 協議事項（分科会）	
第1分科会：第4章 推進施策・事業（基本目標1と基本目標4）	
基本目標1についての意見	
●P10の事業コード0501について、「親子健康手帳」と「母子健康手帳」の違いがあれば教えてほしい。また、母子健康手帳が電子化されることで何ができるようになるのか知りたい。 →（事務局）担当課に詳しい内容を確認する。	

●P17 の事業コード 0701 と 0702 について、赤ちゃん訪問事業とドアノッキング事業間での情報共有はできているのか知りたい。また、ドアノッキング事業の回数も 3 回で合っているか知りたい。 →（事務局）詳細を確認する。
●赤ちゃん訪問事業やドアノッキング事業での成果や効果について、実際に事業につないだ件数などの指標があるのか知りたい。 →（事務局）実際に産後ケア事業などにつないでいる実績があり、その件数も提示することはできる。
●ドアノッキング事業は、外国にルーツがある世帯を保育園までつないでくれたり、情報共有もしていただいたり、いい事業だと思う。
●P19 の事業コード 0803 について、保育園での取組は保育士がしているのか知りたい。 →（事務局）保育園では日常の保育に食育の視点を盛り込んでいる。畑の栽培活動を地域住民と一緒に取り組むことや、食べ物への関心や感謝の気持ちを感じられることも実施している。また、幼稚園も含めて、3 色食品群の効果を毎日伝えている。
●16～19 歳の子どもたちが朝食を欠食している現状に対しての対応として、事業コード 1508 にある小中学校における食育の推進が【後掲】となっているが、基本目標 3 ではなく基本目標 1 に大きく載せてもよいと思う。 →（事務局）【再掲】【後掲】のルールは特にないため、基本目標 1 に大きく載せ、基本目標 4 を【再掲】とする。
●P14、事業コード 0604 の子宮頸がんの予防接種について、SNS 上で子宮頸がんの後遺症などの情報ばかりが発信されているようで、子どもたちが恐怖心のみを持ってしまい受けたがらない。町や学校からもよい周知や啓発ができるとよい。 →（事務局）今年で補助が終わる人に向けての啓発に取り組んでいる。その他にも冊子を作成したり、接種券とチラシを同封したりしている。ワクチンで予防できる唯一のがんであるため、多くの人に受けてもらえることを町としても望んでいる。
基本目標 5 についての意見
●P53「施策の方針」にある「ピアカウンセリング」について、実際の取組があるのか知りたい。 →（事務局）予定は明確には決まっていない。児童相談所が実施し、町では対応できない範囲でもある。表現の仕方を含めて検討する。
●基本目標 1 にもかかわるが、P54 の事業コード 0705 について、家庭児童相談のカウンセリングをしてくれる方の所属はどこになるのか知りたい。 →（事務局）家庭児童相談は、県の児童相談員が担当している。

●カウンセリングについて、育児に対して不安がある保護者であれば相談にくるが、虐待を心配する保護者が相談にくることはなかなか難しいと思う。 →（事務局）子育てをしていて余裕がなかったり、うまくいかなかったりする不安の先に、虐待が起きてしまうという可能性もある。その前に予防できることがあればよいという意味でも事業に取り組んでいる。
●1歳からの預かり保育では、就労という理由のみならず、子育てのリフレッシュ目的で利用される方もいる。支援事業を紹介することもあり、育児が大変だと感じる保護者が手をあげてしまうことは少なからずある。
●P48、施策19の不登校について、不登校になった場合の相談先や支援事業、居場所が、子ども・保護者・先生など全員が分かりやすく知れるとよい。 ただし、不登校の原因が先生、という場合もあるので、相談先の機関が異なっていることや、安心して相談できる場所や人がいるとうれしい。
●P51の事業コード2005について、発達が緩やかな子に対しての園の対応を知りたい。加配保育士の配置における私立幼稚園への補助金対応はあるのかも併せて知りたい。 →（事務局）保育園や公立幼稚園では加配保育士を、子ども一人ひとりの様子に合わせて配置するようにしている。入園前から関係機関と情報を共有して、適切に対応できるように取り組んでいる。ただし、私立幼稚園においては運営人件費となるため、町からの補助金は対応していない。
2. 協議事項（分科会） 第2分科会：第4章 推進施策・事業（基本目標2と基本目標5）
基本目標2についての意見
●これまでの計画に加えて「若者」が入ってきている。どのように施策の中に盛り込んでいくかがポイントだと思う。
●P2「子どもの参加を図りながら・・・」は最も大切だと思う。条例づくりに子どもが参加している。今後の方向に子どもの参画が入っていない。子どもの権利のうち、参画の権利が理解できるようにしてほしい。これから育っていく子どもたちにどう参画をしてもらうかが課題である。 →（事務局）P2今後の方向の1つ目に「こどもの主体的参加・協働を進めます」と最初に示している。
●P3啓発ぐらいで、特に何かをする計画はないのか。 →条例ができたばかりで具体的に計画に記載できる取り組みはない。今後検討して、取り組んでいくものである。
●P2施策の方針に「中高生の居場所」とあるが、若者が出てこない。中学を卒業して、働いている子もいるので、若者を併記してほしい。居場所の中には、大学生も関わる。異年齢の関わりが大事だと思う。
●P2大口町いじめの防止等に関する条例を知らなかった。条例があることは知っていたが、普及啓発が大事である。 →いじめSOSのマグネットなどはもらっては来ている。

→（事務局）いじめを受けた場合の相談先など、どこに連絡をしたらよいかは、全員に配布している。
●P5「子どもの意見表明の場づくりを「検討」します。」とある。子どもが関連する施策をするときに、子どもの意見を聞く施策を進めていきたい。子どもの居場所づくりや条例を推進するときにもかかわってほしい。 →（事務局）こども議会やテーマに合わせて集まる等、いろんなスタイル、やり方がある。
●役場南ひろばやドン・キホーテが中高生の居場所になっている。大人が作った居場所には子どもは来ない。活用の仕方に子どもの意見を聞けるとよい。大口町だけでなく、広域の利用もある。 →（事務局）運営に子どもの参画を得られるとよい。
●P6「閉じこもり」→「ひきこもり」、「いちのみや若者ステーション」→「いちのみや若者サポートステーション」、「福玉倉庫」→「福玉米粒麦」に修正をしてください。
●学校が政治や経済の勉強をしていない。すごく大事である。投票率も低い。小さいころからお金の勉強、働く意味、どのように生活ができるのかを知る機会があるとよい。 →こどものまち（ミニミュンヘン）をやっていた。働いてお金を稼いで、購入する。お金の流れを体験する機会を持っていた。コロナ禍以降実施できていなかったが、ぜひ復活したい。 →コスタリカの例では、子どもの模擬選挙によって、大人の投票行動が変わると聞いた。模擬選挙も良い。
●キャリア教育はおとながこどもに教える内容になっているが、入社数年や離職した若者が講師になってもよい。
●ほかの自治体では婚活パーティーの開催等で結婚を支援している。行政が実施することで、安価で、信頼度も上がる。 →婚活は究極の子育て支援である。 →（事務局）県からの補助金もある。丹羽JC（丹羽青年会議所）でも取り組んでいる。大口町がやるかは検討が必要である。 →（事務局）マッチングだけでなく、伴走支援をしていくことも重要である。
基本目標5についての意見
●P34 幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校の連携はどうか。 →（事務局）幼稚園・保育園と小学校は年に1回就学前に、小中学校は月に1回教頭同士の会議、情報交換がある。
●P37 小中学生等の多様な体験機会の創出と「居場所づくり」がたくさん出てくる。 →（事務局）居場所づくりは大事だと考えている。体験の機会も町の規模に比べて充実している。
●P37 保育園のけん玉の取組は、大口町の文化ではないか。ぜひ記載してほしい。 →（事務局）伝統的に取り組んでおり、すでに数十年になる。木育、知育の一環で、リズム感、忍耐力、鉛筆やはしの持ち方等、こどもの生きる力の獲得につながっていると感じている。
●P42 子ども会の活動が縮小している。加入率が減っている。役をやりたいからと最初から入らない人も増えている。地域によっても協力体制は様々である。

→連絡協議会で仕事を負担する等、役員の仕事の軽減を図っている。	
●P44 防災訓練は中学校も行っているので、入れてほしい。	
●P47 青少年問題協議会はどのようなことをしているのか。 →（事務局）非行防止のための巡回、夏休みに商業施設のパトロールなど、青少年健全育成活動である。	
●P47 メディアリテラシーは今後さらに重要になってくると思う。推進してほしい。	
3. 報告・協議事項（全体会） →各分科会から審議結果の概要を報告	
3. 報告・協議事項（全体会） →全体を通しての意見交換	
（基本目標 1）	
事務局	・基本目標 1 については、特にご意見がないようですが、補足をします。 ・分科会からの報告にもありましたが、若者に対する施策が弱いです。P5 の事業コード 0208 には中高生の居場所について記載がありますが、中高生よりも上の世代に向けた事業も加える必要があるかもしれません。 ・たとえば、P8 の施策 4 は施策が 2 つのため、追加の有無については協議事項として検討します。
（基本目標 2）	
委員	・P16 の「現状と課題」について、ドアノッキング事業の訪問回数が 3 回となっていますが、現在は 2 回の実施です。内訳としては、民生委員による訪問が 1 回、保健師による訪問が 1 回です。
会長	・赤ちゃん訪問事業とドアノッキング事業の連携はされているのでしょうか。
委員	・ドアノッキング事業での活動内容は、長寿ふくし課に報告しています。保健師との直接的な連携はしていない状況です。
会長	・相談するときのファーストコンタクトが、保育園のときがあるそうです。
委員	・P22 の事業コード 0905 について、一時保育の利用者の中には、日ごろの子育ての不安を吐露される方がいらっしゃいます。そういった方を健診や親子通園に案内する場合があります。保育園で抱えきれない場合は、子育てに関する事業の紹介や保健師へのつなぎを行うこともあります。
事務局	・では、P20 の「現状と課題」に「子育てに不安を持っている人が利用するケースが増えている」旨を、「施策の方針」には「保育園でも場合によっては、必要な他機関へつなぐよう努める」旨を記載します。
（基本目標 3、4、5）特に意見なし	
事務局	・P59 の施策 23 や施策 24 について、外国にルーツがある子どもへの支援や自殺対策は従来も取り組んでいる内容ではありますが、今回の計画から特化して掲載しており、新規性がある事業であるという認識をお願いします。

4. その他 →事務局より、今後のスケジュールを説明	
事務局	・第5回大口町子ども・子育て会議は、12月20日（金）13時30分より開催します。 ・意見シートに、今回検討した第4章およびその他の章についてもご意見等ございましたら提出をお願いいたします。 ・令和6年度第4回大口町子ども・子育て会議を閉会いたします。

以上